

～12月16日大阪・17日名古屋セミナーMM2H最新事情と現地資産運用のまとめ～

講師：(株)コスモス・プラン 石原 彰太郎

***マレーシアは2006年からずっとロングステイ人気ナンバー1！**

	1992	2000	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
1	ハワイ	オーストラリア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア	マレーシア
2	カナダ	ハワイ	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	ハワイ	ハワイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ
3	オーストラリア	ニュージーランド*	タイ	タイ	ハワイ	オーストラリア	タイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ	ハワイ
4	アメリカ西海岸	カナダ	ニュージーランド*	ハワイ	タイ	タイ	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	オーストラリア	台湾
5	ニュージーランド*	スペイン	ハワイ	ニュージーランド*	ニュージーランド*	ニュージーランド*	カナダ	カナダ	ニュージーランド*	ニュージーランド*	カナダ	フィリピン	フィリピン
6	スイス	イギリス	カナダ	カナダ	カナダ	カナダ	ニュージーランド*	ニュージーランド*	カナダ	フィリピン	ニュージーランド*	ニュージーランド*	オーストラリア
7	イギリス	スイス	スペイン	フィリピン	スペイン	フィリピン	フィリピン	インドネシア	フィリピン	シンガポール	シンガポール	カナダ	カナダ
8	フランス	イタリア	インドネシア	インドネシア	インドネシア	インドネシア	スペイン	フィリピン	シンガポール	アメリカ本土	アメリカ本土	シンガポール	シンガポール
9	スペイン	アメリカ西海岸	イギリス	スペイン	フィリピン	スペイン	インドネシア	台湾	インドネシア	カナダ	フィリピン	台湾	インドネシア
10	アメリカ東海岸	マレーシア	アメリカ本土	アメリカ本土	アメリカ本土	アメリカ本土	スイス	シンガポール	台湾	インドネシア	インドネシア	インドネシア	ニュージーランド*

(出典：ロングステイ財団)

1. マレーシアがロングステイ先として人気の理由

- (1) **物価の安さ**：日本の1/2.5以下（輸入品除く）
- (2) **政治の安定と治安のよさが魅力**
- (3) **進んだ医療**、日本語での受診も可能
- (4) 英語が良く通じて、**現地人が親日的**
- (5) **天災が無く、一年中温暖な気候**、原発も無い
- (6) 長期滞在ビザが取り易く、政府も強力に奨励
- (7) 多民族国家の為、**面白い異文化体験**が出来る
- (8) 食事も美味しく日本人に合うものが多い
- (9) ロングステイ先として日本人に定着している



2. ロングステイ中の楽しみ方は十人十色

- (1) 趣味・語学
- (2) 異文化体験・ボランティア
- (3) マレーシアを拠点に国内外に旅行を楽しむなど

3. マレーシア人気都市比較

- (1) 「クアラルンプール」ってどんなところですか？
在留邦人19,000名以上・日系デパートやスーパー多数・日本語対応可能な病院有・インター校多数
- (2) 世界遺産のある島「ペナン」ってどんなところですか？
在留邦人3,500名以上・華僑が多く食べ物がおいしい・ロングステイヤーに根強い人気・インター校多数
- (3) マレー半島南端の「ジョホール」ってどんなところですか？
製造／観光／医療／教育のハブになりつつある・インター校多数・不動産投資でも人気の都市です

4. マレーシアの滞在にビザは必要か不要か？

- (1) ビザなし = 90日 + 90日
- (2) MM2H (マレーシアマイセカンドホーム) ビザ
年間180日以上滞在希望・口座開設希望者には必須



(日本人会)



(日系デパート)

5. 長期滞在用ビザについて

- (1) 取得のメリット
期間を気にする必要無・口座開設可・税務対策・日本人学校入学には必須・インター校にも便利
- (2) 申請ステップ
 - ① ステップ1 (申請条件をクリアできますか? 資産&収入) 詳細は <http://www.tpcl.jp/second/appli.html>
 - ② ステップ2 (申請書を移民局に提出し許可を待つ)
 - ③ 仮承認の許可が下りたらクアラルンプールで本申請!
- (3) 日本は申請国別ランキングでは中国に次いで2位
- (4) 2018年には申請条件変更か! ?
申請条件のハードル (資産と収入条件) が上がる予定 / 免税での車の輸出入の特典も終了予定
- (5) 弊社がMM2Hビザの取得をお薦めする理由
10年後も既得権として同条件で継続可 / 資産運用にも有利・資産分散先としての魅力 / 他様々な理由から

6. マレーシアは資産運用でも有望で資産分散先としても安心できる国

- (1) 長期にわたり銀行の破たん、ペイオフがない
- (2) 預金保護制度 (1行約650万円)
- (3) 政治の安定と法整備の充実 (旧英国植民地)
- (4) 資源国家で長期貿易黒字、高い経済成長力
- (5) 地震・台風などの自然災害がほぼ無く、原発の心配もない

7. 資産運用のポイント

	マレーシア	タイ	シンガポール	日本
物価(日本を100として)	40	40	150	100
現地金利(1年定期)	3.8%	0~35%	1.1%	0.1%
現地税金 (所得税、居住者)	0~28% 国内所得のみ 住民税無し	国内所得と 国内送金分 住民税無し	0~22% 国内所得のみ 住民税無し	45.945% 全世界所得 住民税10%

8. マレーシアと日本の株式市場



9. 具体的な資産運用

- (1) マレーシアでお金を使う⇒物価が違うのでお金の価値が変わる
- (2) 預金をする⇒一年定期の金利3~3.8%程度で金利に税金がかからない・預金保護制度有
- (3) 生命保険の長期積立商品がある⇒年率5%程度の複利長期預金（MM2Hビザ）
- (4) REIT（不動産投資信託）⇒16社上場・配当6~8%・課税10%の源泉税・要MM2Hビザと現地住所
- (5) オイルパーム投資⇒マレーシアの有望な農業商品・高配当で7年目以降原価払い戻し
- (6) 株式投資は長期右肩上がり

【マレーシアでの税金と海外税務】

ネイチャー国際資産税事務所の税理士をご紹介します。必ず専門家にご相談ください。

【マレーシア留学の勧めと注意点】

- (1) インター校の現状
 - ・マレーシアの教育システムはイギリス式を踏襲／小学校はマレー語、中国語、タミール語の学校選択
 - ・富裕層は指定を欧米の学校に留学させている
 - ・教育産業が大きなビジネスになっている⇒10万人以上の海外留学生
 - ・欧米有名校が多数マレーシアへ進出！
- (2) マレーシアが留学に向いている理由
 - ・英語が普及している（東南アジアでシンガポールに次いで2位の実力）
 - ・インター校・名門校多数⇒欧米への進学もスムーズ
 - ・留学後日本へ帰国する際帰国子女枠での進学も視野に学校を選択できる
 - ・多民族国家マレーシアでの体験で国際感覚が身に付き、貴重な体験を得ることが可能
- (3) インター校の種類

英国式、米国式、カナダ式、オーストラリア式、インターナショナル バカロレア（IB）等多くのカリキュラム
ケンブリッジAレベルやIB（インターナショナルバカロレア）が増えている
欧米系やローカル系等多数／全寮制（11歳以上程度）もあり
- (4) インター校選びと時期
 - ・名門がお勧め
 - ・語学力に問題があっても受け入れ可能な学校に入る⇒転校してステップアップ！
 - ・場合によっては学年を落とすことも検討／全寮制も貴重な体験、親の同行不要
- (5) 弊社サポート
 - ・学校選び・学校視察・入学テストと面接の日程決め・入学手続き等



(株) コスモス・プラン

住所：東京都中央区日本橋小伝馬町 14-6-3

☎03-6661-7683

担当：杉山 admin@cosmosplan.jp



コスモス・プラン